

平成24年度 第3回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 平成25年2月6日(水) 14:00~15:40

2 場 所 千葉市議会棟 3階 第3委員会室

3 出席者

(1) 委 員 霜禮次郎会長、渡辺志げ子副会長、内山英昭委員、岡村太郎委員、小川直哉委員
谷藤千香委員、五月女重夫委員、増子みき子委員、森幸三郎委員

(2) 事務局

生活文化スポーツ部長

保健体育課長、学校体育係長、千葉市スポーツ振興財団事務局次長

スポーツ振興課長、課長補佐、担当課長補佐、育成係長、スポーツ振興係長
施設係長

4 会 議

(1) 開 会

(2) 挨 拶 審議会会長 生活文化スポーツ部長

(3) 議事録署名人選出

(4) 報 告

① 第2回トップスポーツ推進懇話会について

② 平成24年度スポーツイベントの実施状況について

③ その他

(5) 議 事

① スポーツ・レクリエーションの推進について

② 平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考について

③ その他

(6) 連 絡

(7) 閉 会

5 議事の概要

(1) スポーツ・レクリエーションの推進についての2項目(①トップスポーツとの連携の推進について、②平成24年度重点事業について)及び(2)平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考についての説明後、審議がなされた。

6 会議経過

(1) 開 会 14:00

① 会議は一部公開

② 委員10人のうち9人出席

(2) 挨 拶

(霜会長)

皆様こんにちは。

委員の皆様方には、お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。インフルエンザや風邪が流行しておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、季節がら、ウィンタースポーツが盛んに行われており、冬季国民体育大会が開催中です。スケートの部では、千葉県は22位という結果でした。この後、スキーの部が行われますが、活躍を期待しているところです。

本市におきましては、ホームタウンの千葉ロッテマリーンズ及びジェフユナイテッド千葉は、新監督を迎え、新たなシーズンの準備を進めているようです。昨シーズンは、もう一歩でしたが、市民の応援が大きな力となることは確かです。今年も、市民に多くの夢と感動を与えてくれることを期待しておりますし、環境づくりを市民とともに進めていくことが重要であると思っています。

本年度は、トップスポーツとの連携や重点事業につきまして審議してまいりましたが、本日は、最後の審議会となります。

委員の皆様にはそれぞれのお立場から、忌憚のないご意見を頂戴してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(生活文化スポーツ部長)

皆様こんにちは、角田です。会議に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方には公私共にご多忙の中、また、悪天候の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本年度は、スポーツ振興の所管が市長部局となり、さまざまな取り組みをしてまいりました。

特に、議題のトップスポーツの推進につきましては手探りで広報するとともに、トップアスリートと連携したスポーツ教室など、委員の皆さまからのご意見を踏まえまして事業推進に取り組んでまいりました。

本日は、本年度最後の会議となり、これまでの審議のまとめをしていただくとともに、平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考につきましてもご審議いただきます。

次年度につなげるためにも、どうぞ、慎重審議を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

おわりに、委員の皆様方には、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

(進 行)

会長に議長を依頼する。

(3) 議事録署名人について

(議 長)

議事録の確定方法は、「予め指名された委員」による承認にしたいと思いますが、よろしいですか。

(委 員)

<異議なし>

(議 長)

それでは、議事録署名人として、増子委員にお願いしたいと思います。増子委員よろしく
お願いいたします。

(増子委員)

<了承>

(4) 報 告

<1>第2回トップスポーツ推進懇話会について

<2>平成24年度スポーツイベントの実施状況について

(議 長)

会議次第に従いまして、進めてまいります。

(4) の報告<1>第2回トップスポーツ推進懇話会について、<2>平成24年度スポーツ
イベントの実施状況について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

スポーツ振興課より、レジメ報告資料に基づき報告がなされた。

(議 長)

ただ今の報告について、質問などありますか。

(委 員)

<特になし>

(議 長)

なければ報告(3) その他はありますか。

(事務局)

特にありません。

(議 長)

報告は、以上で終わります。

(5) 議 事

<1>「スポーツ・レクリエーションの推進について」

(議 長)

議事<1>のスポーツ・レクリエーションの推進について、①トップスポーツとの連携の
推進について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

①トップスポーツとの連携の推進について、説明がなされた。

(議 長)

トップスポーツとの連携の推進についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はありませ
るか。

(委 員)

資料1に、本市のトップアスリートの一覧がありますが、他にも、プロ野球やプロゴルフ
の池田選手や井上選手など多くいると思います。

(事務局)

現在掲載しているアスリートにつきましては、掲載について了解を得ているアスリートで

す。ご指摘いただきました選手につきましては、交渉中ですので、了解をもらいましたら掲載していきます。

(委員)

トップスポーツとの連携は市としてどうするかと言いますと、相手があることですので、それぞれの事情で何ができるか異なると思います。一律に市の方で「こうしましょう」という枠組みで「動いてください」というわけにはいかないと思います。やはり、いろいろなことをしている取組みをオープンにして、少しずつ活動を増やしていくことしかないように思います。広報活動を重視しながら進めていくことが第一と考えます。

懇話会の意見は、「さまざまな媒体を通して、トップスポーツの発信をしていくことがよい」ということでした。いろいろありますので、どうしたらよいか難しいと思います。最近、電子媒体、インターネットなどは時間的に速いということで盛んに使われています。一方、このような情報源を使わない人向けに、紙媒体も必要であるということは何度も話させてもらっています。紙媒体のひとつ千葉市の市政だよりは、千葉市民ではない私は、見る機会が多くはありません。千葉市民ではないが、千葉市に勤務しているような関わりのある方についても考える必要があります。ホームページに関しては、いろいろ工夫され、期待が大きいのですが、スポーツ振興課で更新できるところを充実するということを考えていました。資料にありますページにたどり着くまでが難しい面があります。トップページにスポーツという文言が出るとよいと思いますが、このような意見が反映されるのでしょうか。

(事務局)

市ホームページのトップページのデザインにつきましては、広報課が管理しています。現在、市民の関心が高いアイコンを設定しています。スポーツや文化を重要視していますので、広報課に要望はしていますが、審議会のご意見も伝えていくことにより、進展する可能性が上がると思います。所管課としましては、是非、トップページからスムーズにスポーツにアクセスできることがよいと考えています。

(委員)

「よく見られるページ」についてですが、よく見られたという結果により設置されていますか。それとも、よく見るだろうという予測に基づいて設置しているのですか。

(事務局)

アクセスランキング的なものですので、基本的にアクセス数を考慮して設置されています。

(委員)

ツイッター、フェイスブックについてですが、スポーツ振興課独自のアカウントがあると市民が情報収集しやすいと思いますが、ありますか。

(事務局)

現在、スポーツ振興課では、ツイッター、フェイスブックを開設していません。千葉市では、広聴課、集客観光課、消防局、人事委員会などは開設しています。タイムリーな情報を即座に発信できることから、リソースを考慮しなければなりません。大規模なものが必要とは考えにくいので、導入の可能性について検討していきたいと考えます。

(委員)

市ホームページをときどき見ますが、取組みが充実してきていると思います。トップページからスポーツに入るためには、「楽しむ・学ぶ」から入るということですが、ここをスポーツ・文化にすれば入りやすいと思います。

また、パソコンを使用している方ばかりではありませんので、いろいろな情報手段が必要で

す。私の出身地の地元新聞が県外に出た選手につきましても情報を取り上げていることを前回の会議でも発言させていただきましたが、情報発信は、いろいろな方法でさらに工夫した取り組みが必要であると思います。

(委 員)

資料2は、広報・PR活動についてどのように取り組んだか示しており、ホームページや市政だより、横断幕などの項目がありますが、新聞という項目がありません。実際は新聞での情報発信に取り組んでいると思いますが、どうでしょうか。

(事務局)

スポーツ振興課では、スポーツ新聞を作成しアスリートの活躍を発信していません。行事一覧などはスポーツ施設に掲示しています。折込み紙であります「あさひフレンド」などへは、各団体が市民レベルの大会結果を掲載してもらっています。市民の意見などにつきましては、市民スポーツレポートをホームページに掲載しています。

(委 員)

地方紙などの新聞掲載については、どうですか。

(事務局)

プレスリリースの積極的なものとしましては、オリンピック・パラリンピック出場選手やアメリカンフットボールのオービックシーガルズなどのメディア発信は実施しています。個人レベルはまだ実施していません。今後は、トップスポーツの連携ということで、ジュニアアスリートも含め情報を収集し、地元紙に対してプレスリリースなどしていくことは重要な戦略となりますので、地元紙を活用していくことにつきまして検討していきたいと思います。

(委 員)

トップスポーツから千葉市に対して、「このようなことを行政にしてほしい」というような要望はありますか。

(事務局)

ロッテマリーンズとジェフは既にホームタウンチームとして認知度が高く、取り組みが充実していますので、要望はほとんどありません。他のトップチームにつきましては、これまでは関連がなかったものですが、今年度から、相互にできることにつきまして、話を始めたところです。チーム側の要望は、より多くの市民にチームについて知ってほしいが、チームとしての広報活動では限界があるので、行政の側面からの支援、広報活動をしてほしいというものです。資金の支援や会場についてではなく、まずは自分たちの活動を知ってほしいという話をいただいています。また、今後、相互に話をしていく中で、他の要望が出てくると思います。

(委 員)

会場の制約もありますが、トップアスリートの動きなど子供たちに間近で見せてあげたいと思います。特定の場所ではなく、エリアを広くし、市民が身近に感じられるようにするには、市のスポーツ施設の主だったところや限られた学校だけではなく、順番に回っていくことをしたらよいと思います。

(事務局)

今後、トップスポーツとの連携は、チーム・アスリートが市民との交流をすることが大事になっていくと考えます。より多くの市民と出会っていただくには地域の団体や学校へアスリートに行っていただき、大規模ではない交流をしていただくことが大事になっていくと思います。次年度以降は、交流をいかにしていくかが課題になってきます。例えば、総合型地域スポ

ークラブや地区スポーツ振興会が主催する事業にアスリートに行っていただくことなど、いろいろな手法が考えられますので、各団体からの意見もお聞きしたいと思います。

(委員)

トップスポーツの活躍やイベント開催の広報がありますが、さらに、このトップスポーツ連携事業の広報をしていくとよいと感じました。このチームがこのような連携事業をしているという情報発信です。連携事業についての場所や日程面を考慮すると学校訪問が考えられます。その際、グラウンドで実施する場合、直接指導を受けることができなくても「参観可能です」というように、周囲の方たちが見ることができるようにしてほしいと、行政が要望してほしいです。広報で、連携事業の周知をしていけば多くの人に関わっていけると思います。

(議長)

地域の小学校の周年事業がありました。その際、子ども達が一番喜んだのはロッチマリーンの選手が来て、盛り上げてくれたことでした。国語と算数の教材を持ってきてくれ、配付していました。連携した取組みがすばらしいと思いました。是非、他地域の子も達も、いろいろなスポーツ選手と交流できればよいと思いました。

(議長)

多くのご意見をいただきましたが、①トップスポーツとの連携の推進につきまして、事務局の提案どおり進めていくことでよろしいでしょうか。

(委員)

<承認>

(議長)

次に、②平成24年度重点事業について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

②平成24年度重点事業の「ア 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催、ビーチスポーツ活動の促進」について、説明がなされた。

(議長)

ただ今、事務局より説明がありました。ご質問、ご意見はありますか。

(委員)

夏から秋にかけていろいろな大会があると感じました。千葉市の海辺、ビーチを活かして更にいろいろなスポーツ大会が開催されるとよいと思います。

(委員)

各大会に参加者数は、どのぐらいですか。

(事務局)

スポーツ・レクリエーション祭のビーチバレー体験教室は、30人程度です。幕張サイクルフェスタは、選手は300人程度の参加がありました。市民クロスカントリー大会は、本年度も2月に開催されますが、昨年度同様800人程度の参加が見込まれています。

(委員)

ビーチテニスは、どのように実施していますか。特別な施設があるのですか。

(事務局)

砂浜で実施しており、ラリーはノーバウンドで行います。1チーム2人のダブルスで行うことが多いようです。

(委員)

検見川ビーチ連盟という組織について、どのような団体が補足してください。

(事務局)

ビーチを活性化したい、きれいにしたいというグループが集まっています。ビーチスポーツ関係の店舗やマリンスポーツを推進している方、地元の自治会などさまざまです。代表は、ウインドサーフショップの方で、その方が中心となり口伝えで広がっているようです。

(事務局)

スポーツ振興財団ですが、ヨットハーバーを管理しています。ここは、景観もすばらしく海辺を活性化させたいと思っています。また、所有しているロッカーをビーチスポーツ団体に貸出しています。

(議長)

緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催、ビーチスポーツ活動の促進につきましては、課題を踏まえ、今後も継続して取り組んでください。

次に、多世代参加型のスポーツ・レクリエーションの推進、障害者とのスポーツ交流について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

②平成24年度重点事業の「多世代参加型のスポーツ・レクリエーションの推進、障害者とのスポーツ交流」について、説明がなされた。

(議長)

「多世代参加型のスポーツ・レクリエーションの推進、障害者とのスポーツ交流」について、いかがでしょうか。

(委員)

障害者の方と健常者の方への指導は違うと思いますが、私たち地域スポーツ指導者として対応できるか不安があります。

(事務局)

千葉市独自の障害者指導者養成はしていませんが、県には組織があり研修会を行っています。スポーツ推進委員は1名、スポーツコーチは8名が有資格者となっています。今後、資格取得制度や講習会について、各団体に周知していきたいと考えています。

(議長)

誰もがスポーツができるような取組みをしていくことが大事です。

多世代参加型のスポーツ・レクリエーションの推進、障害者とのスポーツ交流につきまして、他にありますか。ないようですので最後に、スポーツ障害などの予防の啓発、スポーツ医・科学の活用の構築について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

②平成24年度重点事業の「スポーツ障害などの予防の啓発、スポーツ医・科学の活用の構築」について、説明がなされた。

(議長)

「スポーツ障害などの予防の啓発、スポーツ医・科学の活用の構築」についてですが、いかがでしょうか。

(委員)

スポーツドクターによるスポーツ障害講座は、どこが主催していますか。

今年度は、小・中学校7校で実施したとのことですが、継続して他の学校も実施していき拡充する可能性がありますか。

(事務局)

スポーツ障害講座は、千葉市学校保健会の子どもの健康を守る専門家派遣事業です。医師会の協力を得て実施しており、学校保健会の事務局をしています保健体育課が連携しています。学校の希望をとり調整しながら進めており、平成23年度も実施しています。有意義な事業ということで、今後も継続していく予定です。

(議長)

スポーツ障害などの予防の啓発、スポーツ医・科学の活用の構築につきまして、他に意見はありますか。ないようですので、②平成24年度の重点事業について、事務局の提案どおり引き続き取り組んでいくことでよろしいでしょうか。

(委員)

<承認>

(議長)

議事(1) スポーツ・レクリエーションの推進については、以上で終わります。

<2>平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考について

(議長)

議事(2) 平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考について、説明がなされた。

(議長)

議事(2) 平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考について、ご質問・ご意見はありますか。

(委員)

<特になし>

(議長)

議事(2) 平成24年度千葉市スポーツ功労者候補の選考について、承認いただけますか。

(委員)

<承認>

(議長)

議事(3) その他、事務局ありますか。

(事務局)

特にありません。

(議長)

委員さんから、ありますか。

(委員)

<特になし>

(議長)

それでは、議事終了いたします。ご協力ありがとうございました。

(進行)

会長、進行ありがとうございました。委員の皆さま、慎重なご審議ありがとうございました。

た。最後に、事務局より連絡させていただきます。

(6) 連 絡

(事務局)

スポーツ功労者表彰式及びスポーツ講演会の出欠席の返信につきまして、2月18日までをお願いします。

平成25年度のスポーツ推進審議会は、平成25年7月開催予定ですが、確定しましたら改めてご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

(進 行)

これを持ちまして、平成24年度第3回スポーツ推進審議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(7) 閉 会 15:40終了